

様似町立様似小学校 学校だより



～学校教育目標～

様似を愛し 自ら考え 進んで学ぶ子

知：主体的に学び仲間と学び合える子

徳：心豊かで挨拶のできる子

体：心身ともに元気でたくましい子

令和7年 8月19日 第6号

あいさつと返事を大事にしましょう！

校長 佐藤 正寿

あっという間に終わってしまった夏休み、児童の皆さんは楽しめたでしょうか。また、子どもたちが学校に通う生活が始まります。保護者の皆様にとっては、寂しさ半分、ホッとした気持ち半分といったところでしょうか。子どもたちの夏休みの思い出を、いっぱい聞くのが楽しみです。

休み中に防犯・防災について大きく考える機会がありました。まずは、夏休み初日の25日金曜日、小学校と中学校の教員が集まり、警察の方々のご協力の下、不審者侵入の際の対応訓練を行いました。玄関での不審者対応といきなり教室に乗り込まれた場合の対応の2パターンを行ったのですが、教室にいきなり乗り込まれた場合、校内放送での避難指示はほとんど聞き取れないことが分かりました。現在、改めて防犯マニュアルを作っているところです。5月に東京で、酔っぱらった2人が教室に乗り込む事件が起きています。様似ではそんなことは起きないと信じていたのですが、明日は我が身と思い、しっかりと対応できるよう準備をしていきます。

2つ目は、30日の津波警報です。ほとんどの皆さんが避難をされたことと思います。本校職員も避難をして、夕方5時頃まで高台にいました。岡田共立興産株式会社様のご協力により、日陰で過ごすことができ、また、エアコンの効いた部屋も開放していただけたことで、避難してきた子どもたちや地域の方々も体調を崩す人はいませんでした。また、役場の方が水や食料の配布を行うなど迅速に対応してくださり、とても心強かったです。もし津波警報が授業中に issuance、児童123名職員25名、合わせて150名程があの高台で過ごすことになったら、本当に大変だったと思います。避難訓練は毎年行っていますが、警報は簡単には解除されないことを念頭に、避難後の対応についても改めて考えているところです。この2つの経験を活かし、しっかりといざという時のために備えていきます。

少々難しい話で始まりましたが、休み中に嬉しかった話をひとつ。プールの監視の時、暑かったので私も途中からプールに入り、子どもたちと一緒に泳いだり遊んだりしていました。途中、希望する子どもを持ち上げて、水に投げ込んでいると、去年は怖くてできなかった子が「投げて！投げて！」と言ってきました。水にピチャン！と落ちるたびに笑顔で楽しそうに顔を出していました。また、つい最近まで鼻をつままないで潜れなかった子が、普通に潜れるようになるなど、子どもたちの成長を見る事ができて、とても嬉しかったです。新しいことができるようになった時の子どもたちの笑顔は本当に素敵です。

今日から2学期のスタートです。この2学期は、あいさつと返事に力を入れて指導していきます。昨年からの話の聞き方はかなり良くなりました。3月の指導で、中指を立てたりひどい言葉を言ったりすることも減ってきています。次は、あいさつと返事です。誰かと会った時、何かを始める時、すべてあいさつと返事から始まります。当たり前だけどとても大切な事です。しっかり身につけてもらえるよう指導していきます。

2学期も子どもたちがいっぱい笑顔でいられる様似小学校になるよう職員一同力を合わせて頑張っていきますので、保護者の皆様、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。様小の子どもたち、保護者の皆様、様小職員にとって、楽しく有意義な2学期になりますように。